

秩父宮賜杯

第 39 回全日本大学駅伝対校選手権大会

要 項 (案)

1. 主 催 社団法人 日本学生陸上競技連合、朝日新聞社、テレビ朝日、メ〜テレ
2. 運営協力 東海学生陸上競技連盟、愛知陸上競技協会、三重陸上競技協会
3. 後 援 文部科学省、愛知県、三重県、名古屋市、伊勢市、日刊スポーツ新聞社
4. 支 援 愛知県警察本部、三重県警察本部
5. 特別協賛 積水ハウス
6. 協 賛
7. 協 力
8. 企画協力 株式会社アサツーディ・ケイ
9. 日 程 開 会 式 平成 19 年 11 月 3 日 (土) 16 時「朝日ホール」
(朝日会館 15 階＝朝日新聞名古屋本社内)
競技スタート 平成 19 年 11 月 4 日 (日) 8 時 10 分スタート
閉 会 式 平成 19 年 11 月 4 日 (日) 14 時 30 分レース終了後「伊勢神宮会館講堂」
(伊勢市宇治中之切町)
10. コー ス 熱田神宮西門前 (名古屋市熱田区神宮) 伊勢神宮内宮宇治橋前 8 区間 106.8km
区 間 第 1 区 14.6km 熱田神宮前→愛知県・弥富市筏川橋西詰 (喫茶シャロウ前)
第 2 区 13.2km 弥富市筏川橋西詰→三重県・川越町高松 (中部小松リフト四日市支店前)
第 3 区 9.5km 川越町高松→四日市市六呂見町 (山九名古屋支店海山道倉庫前)
第 4 区 14.0km 四日市市六呂見町→鈴鹿市寺家 (中勢自動車学校前)
第 5 区 11.6km 鈴鹿市寺家→津市上浜町 (和食東さち屋前)
第 6 区 12.3km 津市上浜町→松阪市曾原町 (元ドライブイン三雲)
第 7 区 11.9km 松阪市曾原町→松阪市豊原町 (J A 松阪前)
第 8 区 19.7km 松阪市豊原町→伊勢神宮内宮宇治橋前
11. 出場資格 1) 平成 19 年度 (社) 日本学生陸上競技連合登録競技者。
2) 各地区学連から選抜されるチーム数は 19 大学とし、各地区学連の代表数は次の通りとする。
関東 6 大学、関西・九州各 3 大学、東海・中国四国各 2 大学、北海道・東北・北信越各 1 大学
3) 昨年度上位 6 大学 (駒大・日大・中大・順大・山梨学大・日体大) で参加を希望する大学。
4) 総出場校は 2) の 19 大学と 3) の 6 大学、オープン参加の東海学連選抜チームを含める 26 チームとする。
12. チーム編成 1 チーム 13 人 (監督 1、マネージャー 1、選手 11)
なおチームエントリーの段階ではさらに選手 2 人を加えて登録することができる。

13. 申込方法と場所 日本学生陸上競技連合が配布する申込用紙に必要事項を記入し、平成19年10月15日（月）正午までにチームエントリー（11人）を大会事務局へ必着するよう申し込む（チームエントリー後の変更は不可）。またメンバーエントリー（正選手8人、補員3人）は健康に関する誓約書を添えて、平成19年11月3日（土）12～13時までに、大会事務局へ持参のこと。

（なお、念のため申し込み用紙発送と同時に大会事務局へ電話連絡のこと）

本大会の事務局は下記の通り。

〒460-8488 名古屋市中区栄1丁目3番3号

朝日新聞社事業本部名古屋企画事業チーム内

全日本大学駅伝対校選手権大会事務局

電話 052-231-8131（大代表） FAX 052-232-0955

14. 監督会議 平成19年11月3日（土）午後2時30分から朝日新聞名古屋本社15階「朝日ホール」で行う。

15. 表彰 優勝大学には秩父宮賜杯、日本学生陸上競技連合会長トロフィー、朝日新聞社優勝旗を贈与する。

1位から6位までに賞状・賞品を、また優勝大学の監督に優勝監督賞を、各区分賞者には区分賞をそれぞれ贈与する。

16. 競技方法 本大会実施要綱により実施する。

17. その他 1) たすきは各チームで用意することとし、長さ：1.6～1.8m、幅：6cmを標準とする。なお、繰上げ用のたすきは主催者が用意する。

2) 公道に直接目印となるマーキングすることを厳禁とする。

3) テレビ朝日系列24局ネットで放映される。

4) 参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。

5) 本大会参加チーム（13名）の宿泊・交通費については、主催者が負担する。

6) 参加申し込みと同時に、宿泊所の斡旋希望校は申し出ること。希望チームには名古屋ホテル旅館協同組合がコース沿道の適当な宿泊所を紹介する。

7) 4区（10km手前）と8区（12.2km地点）に給水所を設置。ミネラルウォーター（ボトル）とスポンジを置く。